

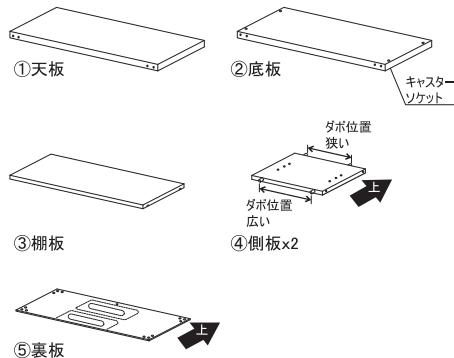
薄型テレビスタンド

AS-QF600-WW

組立説明書

部品一覧

◎組み立て前に下記の部品表の全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。



No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
⑥		棚ピン	4	⑩		キャスター・トレイ	2
⑦		コーナージョイント(黒)	4	⑪		転倒防止バンド	1
⑧		コーナージョイント(白)	4	⑫		転倒防止バンド取付け用ネジ	2
⑨		キャスター	4				

◆ご用意の道具



取り扱い上のご注意

- 直射日光にあてたり、ストーブのそばにおくと光や熱により変色、変形することがありますのでご注意ください。
- この製品にセロテープ、ラベル等を貼らないでください。
(はがすときに表面の化粧面がはがれる場合があります。)

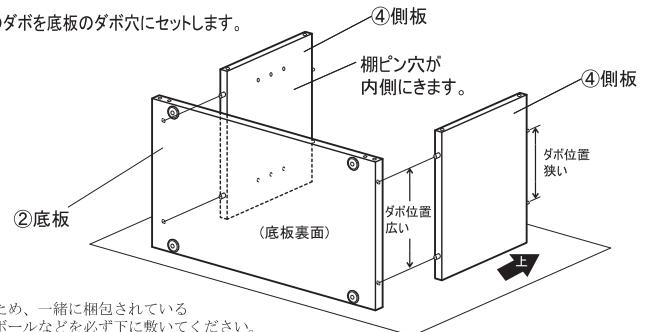
お手入れのしかた

- 汚れをとるときは、乾いた布でふいてください。汚れのひどい時は、中性洗剤をしみ込ませた布をかたくしまったもの、又は家庭用クリーナーで汚れを落としてから、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーの使用は、変色や色ハゲの原因になりますのでおやめください。(化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きにしたがってください。)

お買いあげいただきありがとうございます。組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。
その後大切に保管し、必要なときにお読みください。

1 側板と底板の組み立て

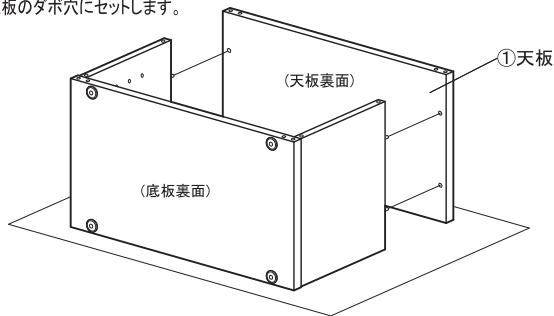
側板のダボを底板のダボ穴にセットします。



※傷防止のため、一緒に梱包されている厚紙や段ボールなどを必ず下に敷いてください。

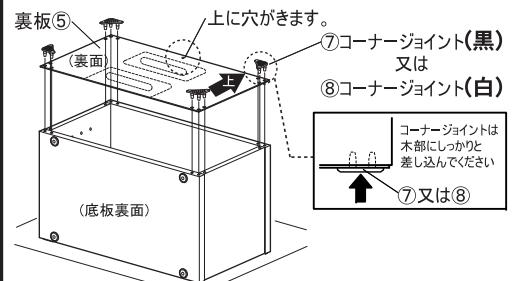
2 天板の組み立て

側板のダボを天板のダボ穴にセットします。



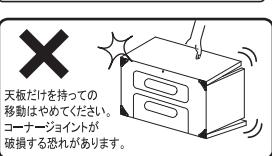
3 裏板の組み立て

手順1 裏板をセットします。
コーナージョイントを4箇所取付ます。

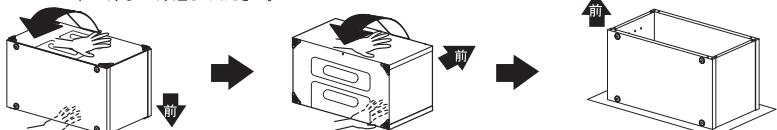


確認 コーナージョイントはお好みの色をご使用できます。
よくご確認の上、組立てをしてください。

機器などを設置するときは
裏板には配線処理用として左図の点線部があらかじめなっています。
下図のように切り込みの接続部をカッターナイフなどで切り取ってください。
△その際は、カッターナイフの取扱いに十分ご注意ください。

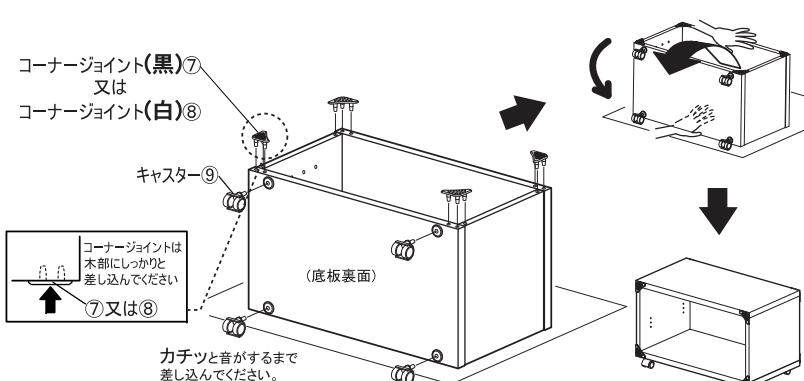


手順2 天板・底板を挟み込むようにしっかりと持つ
ゆっくりひっくり返してください。



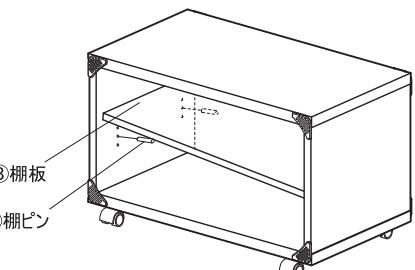
4 コーナージョイント・キャスターの取り付け

コーナージョイントを4箇所取付ます。その後キャスターを4箇所取り付けます。

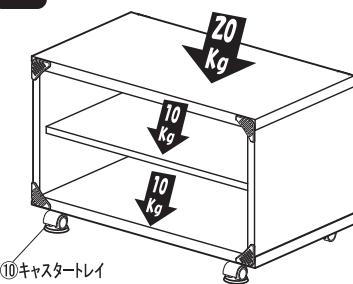


5 棚板の設置

コーナージョイントが木部にしっかりと差し込まれているか
確認してから棚板を設置してください。



6 完成



耐荷重
天板:20kg / 棚板:10kg / 底板:10kg

対応テレビサイズ

(一部メーカー、機種によって異なりますので、サイズや重量等をご確認の上ご使用ください。)

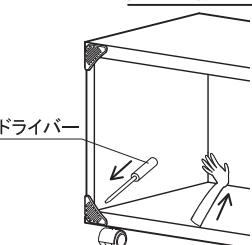
薄型テレビ 26Vまで

テレビを載せるときはバランス良く載せてください。
不安定な載せ方はしないでください。
又、指定荷重以外の物を載せないでください。
落下や破損の原因となり、けがをする恐れがあります。

ありがとうございました。
裏面もお読みください。

コーナージョイントの外し方

コーナージョイントの色変更や取り付け間違いの時には後面は裏板と一緒に手などで、前面はドライバー等で内側よりコーナージョイントを少しづつ押し出してください。

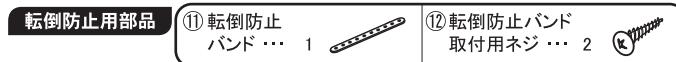


転倒防止措置についてお願い

テレビにお子様が登ったり、揺すったり、押したりされるとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

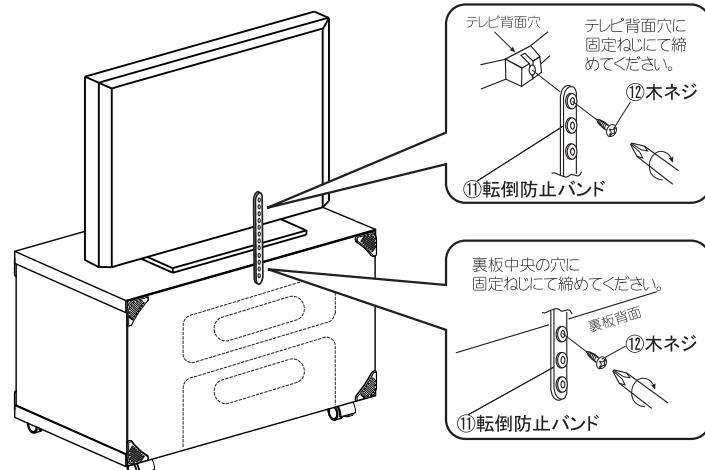
■取付け方法

転倒防止バンドの取付方法はご使用のテレビの形状により異なります。テレビの転倒防止についての説明書をご参考の上、適した方法でお取付けください。(テレビの形状によりお取付けできないものもございます。)



ご注意

プラズマテレビ、液晶テレビなどの薄型テレビをご使用の場合は、上記の部品が使用出来ない事がございます。そのような場合は、テレビ本体の取扱い説明書などにもとづき、何らかの転倒防止措置を行うことをお勧めします。



※転倒防止バンドの取付方法はご使用のテレビの形状により異なります。
テレビの説明書をご参考の上、適した方法でお取付けください。
(テレビの形状によりお取付けできないものもございます。)

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置し、お使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



■ テレビやスタンドにぶら下がったり、上に乗せたり、寄りかかったりしないでください

テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特に子供のいるご家庭ではご注意ください。

■ 振動のある場所に置かないでください

振動でテレビが転倒したり機器が落下しけがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください

テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。

■ 部品を改造しないでください

スタンドの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。



■ 薄型テレビ以外のものを載せないでください

本製品は薄型テレビを載せる専用スタンドです。その他のものや重いものを載せないでください。

■ 高温・多湿の場所に置かないでください

直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。

■ 移動・設置において

- 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
- 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認してください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
- キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は持上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください

さびや故障・変形の原因となります。



■ スタンドからはみ出して機器を設置しないでください

テレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

■ 手や指はさみにご注意ください

ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。

■ 放熱を妨げないでください

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に押しつけてください。(10cm以上の間隔をあける)

■ 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください

変形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

■ 転倒防止の処置を行ってください

転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。

*付属している転倒防止ワイヤー(前面方向)は地震等の揺れに伴なう転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お客様や家具等に障害が生じた場合、一切の損害に保証をお約束するものではありません。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

P L 貸借制度付合済



(社)全国家具工業連合会

Tel 03-5645-8548